

海外で「日本語を教えて」と言われたときに

ちよつと日本語

ばらして使う教材

2008年改訂版

第1部【教材】

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. こんにちは | 数字 |
| 2. お名前は？ | 折り紙<かぶと> |
| 3. 何を飲みますか？ | 歌<かえるの歌> |
| 4. 好きですか？ | 絵かき歌<コックさん> |
| 5. 知っていますか？ | 有名なもの |

第2部【教えるときに】

NPO 法人 海外日本語学習支援協会

この本のこと

あなたは海外で突然「日本語を教えて」と言われたことはありませんか。日本へのあこがれ、物めずらしさや好奇心から日本語を習ってみたいと思うのでしょうか。こうした要望に押されて「日本語レッスン」を始め、健闘されている方が世界中に大勢いらっしゃいます。ただ、何をどう教えればいいのか戸惑うことも多く、特に皆さんが苦勞しているのが適切な教材がないことです。この小冊子はそんな海外で暮らす日本人が、ちょっとだけ日本語を紹介するための手助けになればと作りました。

『ちょっと日本語』は海外ボランティアが活動している国や地域で使っていただくことを想定しています。日本語を聞いたこともない、日本人に会うのはあなたが初めて、日本と言えば車のメーカー名しか知らない、そんな現地の友人にほんの少し日本語に触れてもらうための小さな本です。気軽に日本を知ってもらおうきっかけの一つとしてこの本を使ってみてください。

どの回も、よくある場面で使う簡単な表現です。

各回のページ左側の空欄に右側の会話の現地語訳を、学習者と相談しながら書き込みます。その時に、今日することを一緒に確認します。そして、実際に日本語で会話しましょう。詳しくは「教えるときに」を参考にしてください。

日本語はローマ字とかなの両方で書きました。世界中にはたくさんの方の言語があつて、ローマ字で書かれた日本語を日本人が期待するようには読まない言語もあります。その場合は、日本人と同じ発音ができるように、学習者に自分の言語で、聞いたとおりに書いてもらってください。

各回の2ページ目に、習った日本語を使ったゲームや、折り紙、歌などを入れました。


楽しいふれ合いを願いつつ

NPO 海外日本語学習支援協会
有志

1. Konnichiwa

こんにちは

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____

(1) Ohayō gozaimasu  Ohayō gozaimasu 
おはよう ございます

(2) Konnichiwa  Konnichiwa 
こんにちは

(3) Konbanwa  Konbanwa 
こんばんは

(4) Sayōnara  Sayōnara 
さようなら

(5) Dōzo  Arigatō gozaimasu 
どうぞ
ありがとう ございます

- 1 ichi
- 2 ni
- 3 san
- 4 shi / yon
- 5 go
- 6 roku
- 7 shichi / nana
- 8 hachi
- 9 kyū / ku
- 10 jū



2. O-namae wa? お名前は?

(1) _____



(2) A: _____
 B: _____
 A: _____ ?
 B: _____

(3) A: _____ ?
 B: _____

(4) A: _____ ?
 B: _____ / _____

(1) Konnichiwa. こんにちは。
Tanaka desu. 田中 です。
Nihon-jin desu. 日本人 です。
Enjinia desu. エンジニア です。

(2) A: O-namae wa? お名前は?
 B: _____ desu. _____ です。
 A: _____ -san desu ka? _____ さんですか。
 B: Hai / Iie はい / いいえ

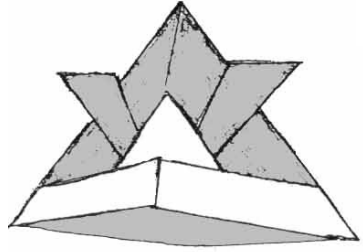
(3) A: Gakusei desu ka? 学生 ですか。
 B: Hai / Iie はい / いいえ
 kaishain • kōmuin • _____ 会社員 • 公務員 • _____

(4) A: Nihon no kata desu ka? 日本 の方ですか。
 B: Hai / Iie はい / いいえ

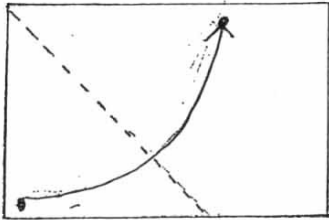
Tai • Toyota タイ • トヨタ

ORIGAMI

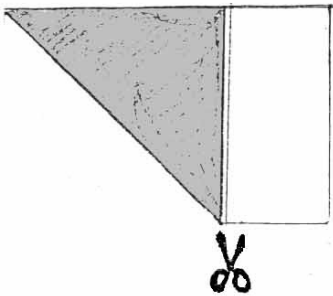
KABUTO



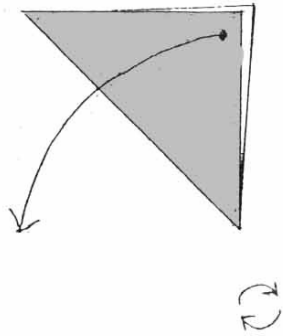
1



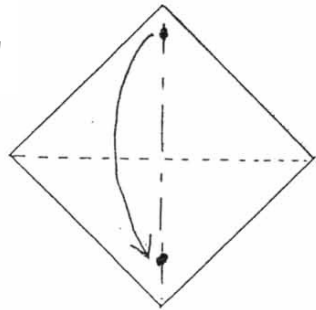
2



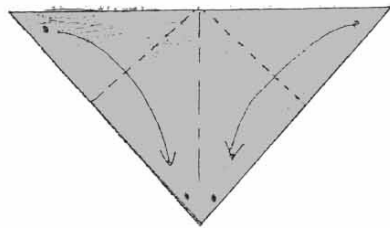
3



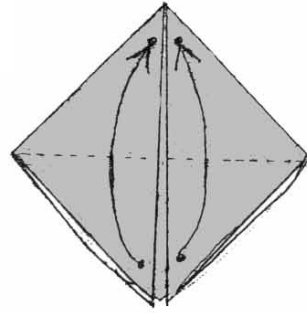
4



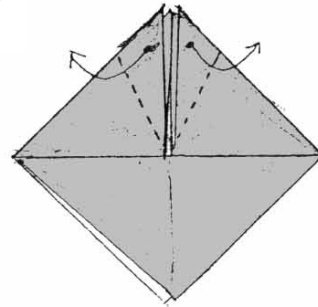
5



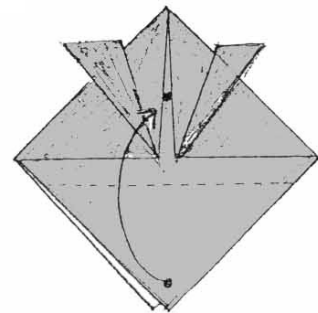
6



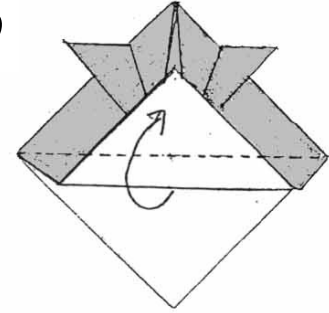
7



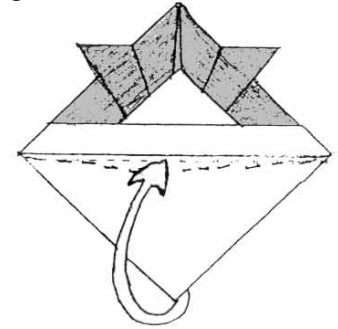
8



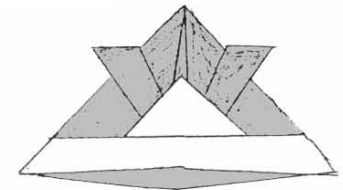
9



10



11



3. Nani o nomimasu ka? 何を飲みますか？

(1) A:

B:



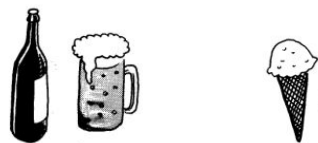
(2) A:

B:



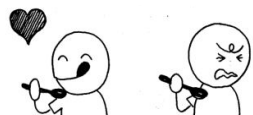
(3) A:

.....



(4) A:

B1: (^_^)



B2: (>_<)

(1) A: Nani o nomimasu ka?

何を飲みますか。

B: Kōhī o nomimasu.

コーヒーを飲みます。

Kōcha · jūsu · 紅茶・ジュース・.....

(2) A: Nani o tabemasu ka?

何を食べますか。

B: Hanbāgā o tabemasu.

ハンバーガーを食べます。

sarada · piza · サラダ・ピザ・.....

(3) A: Sumimasen.

すみません。

Kōhī, onegaishimasu.

コーヒー、お願いします。

bīru · aisu kurīmu · ビール・アイスクリーム・.....

(4) A: Dō desu ka?

どうですか。

B1: Oishii desu.

おいしいです。

B2: Uuun...

うーん...

かえるのうた



楽しく

Musical notation for the first line of the song. It consists of a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff has a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). The melody starts with a whole rest, followed by a series of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The bass staff has a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). It features a steady accompaniment of quarter notes: G2, B1, D2, F#2, G2, B1, D2, F#2.

か える の う た が き こ え て く る よ

Ka e ru no u ta ga ki ko e te ku ru yo

Musical notation for the second line of the song. It consists of a treble clef staff and a bass clef staff. The treble staff has a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). The melody consists of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F#4, E4, D4, C4. The bass staff has a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). It features a steady accompaniment of quarter notes: G2, B1, D2, F#2, G2, B1, D2, F#2.

クワ クワ クワ クワ ケ ケ ケ ケ ケ ケ ケ クワ クワ クワ

Kuwa! Kuwa! Kuwa! Kuwa! Ke ke ke ke ke ke ke Kuwa! Kuwa! Kuwa!

4. Suki desu ka ? 好きですか？

(1) A: ?

B:



(1) A: Shumi wa nan desu ka ? 趣味は 何ですか。

B: Ongaku desu. ...音楽...です。

Sakkā · dansu · tsuri サッカー・ダンス・釣り



(2) A: ?

B: /



(2) A: Uta ga suki desu ka ? ...歌...が 好きですか。

B: Hai / Iie はい / いいえ

ryōri · tsuri · eiga 料理・釣り・映画



(3) A: ?

B:



(3) A: Nani ga suki desu ka ? 何が 好きですか。

B: Niku ga suki desu. ...肉...が 好きです。

yasai · bīru · banana 野菜・ビール・バナナ



Ekaki-uta

えかきうた

ぼうが いっぽん
Bō ga ippon
ありました
Arimashita



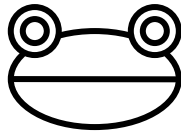
おなべかな
Onabe kana



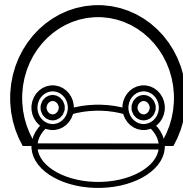
おなべじゃないよ
Onabe janaiyo
はっぱだよ
Happa dayo



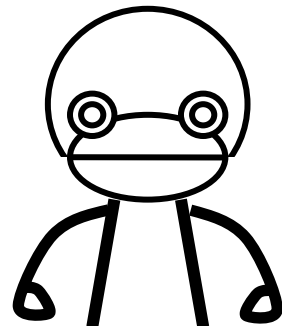
はっぱじゃないよ
Happa janaiyo
かえるだよ
Kaeru dayo



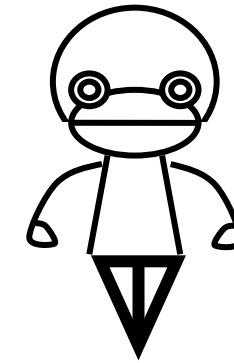
かえるじゃないよ
Kaeru janaiyo
あひるだよ
Ahiru dayo



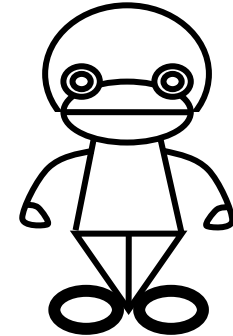
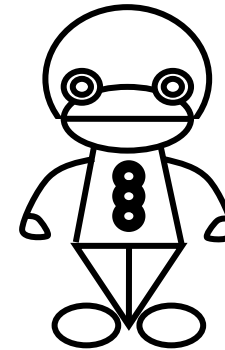
ろくがつ むいかに
Rokugatu muikani
あめ ざあざあ
Ame zā zā



さんかくじょうぎに
Sankakujōgini
ひび いて
Hibi itte

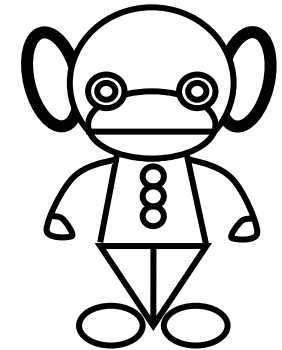


あんぱん ふたつに
Anpan futatsu ni

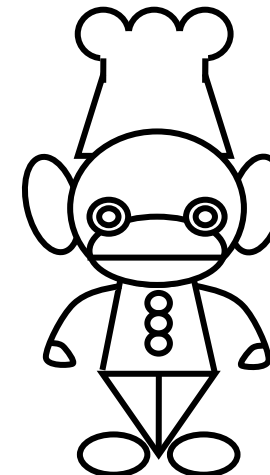


まめ みつつ
Mame mittsu

こっぺぱん ふたつ
Koppepan futatsu
くださいな
Kudasaina



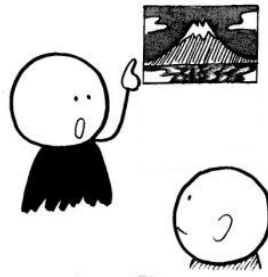
あつというまに
Atto yū mani
かわいい こっくさん
Kawaii Kokku san



5. Shitte imasu ka? 知っていますか?

(1) A:

B: /



(2) A:

B: /

(3) A:

B:

(1) A: Fuji-san o shitte imasu ka. 富士山を 知って いますか。

B: Hai / Iie はい / いいえ

..... ·

(2) A: Tōkyō ni ikimashita ka. 東京 に 行きましたか。

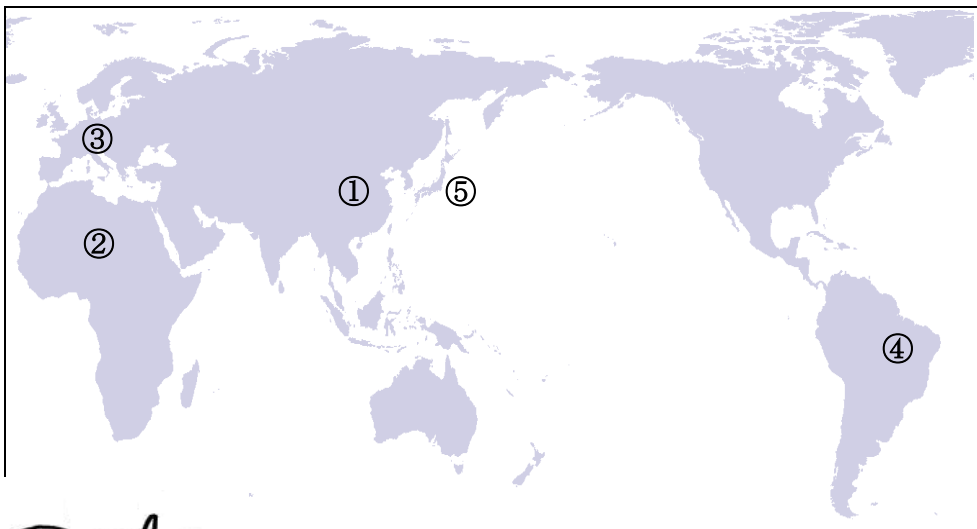
B: Hai / Iie はい / いいえ

..... ·

(3) A: Fuji-san wa yūmei desu. 富士山 は 有名です。

B: Sō desu ka. そうですか。
Ikitai desu. 行きたいです。

..... ·

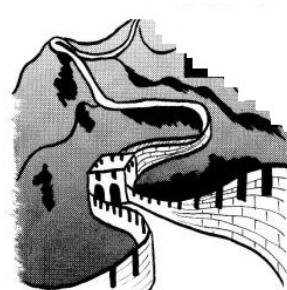


- Nihon desu. 日本です。
-
-
-

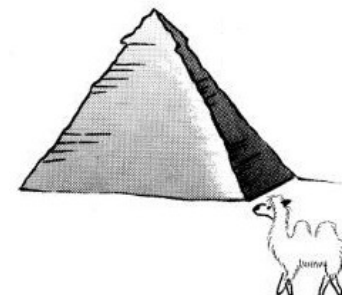
①～⑤

A: Shitte imasu ka. A :知っていますか。
 B1: Hai, desu. B1:はい、..... です。
 B2: Iie. A - san wa shitte imasu ka. B2:いいえ。Aさんは知っていますか。
 A1: Hai, desu. A1:はい、..... です。
 A2: Iie. A2:いいえ。

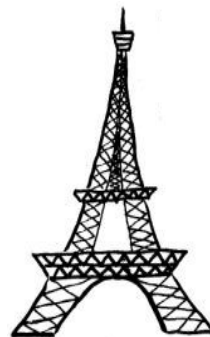
①



②



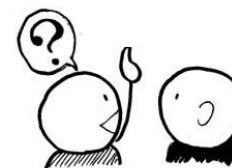
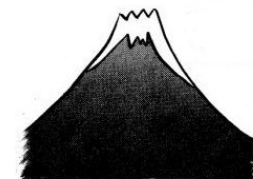
③



④



⑤



教えるときに

1 こんにちは

日本語で挨拶ができるようになりましょう。

手順1 左の空欄に、右の会話の訳が書いてありますか。

手順2 まず、(1)から(4)の挨拶を現地語と比較しながら確認しましょう。
日本語では朝、昼、晩と時間帯によって使う挨拶が違います。
また、別れるときの挨拶は国によっては「さようなら」を使わない場合もあります。お互いの国の挨拶の仕方について話しながら進めます。

手順3 次に(1)から(4)の挨拶を何回も繰り返し、言います。言えるようになったら、文字は見ないで、イラストだけを見て、その時間帯に合った挨拶が言えるか試してみましょう。

手順4 最後に(5)の「どうぞ」「ありがとうございます」をそれぞれの役割(渡す人と受け取る人)を変えて何回も繰り返し言います。言えるようになったら、実際に身の回りのものを渡しながらか練習します。
物を渡すとき以外にも、コーヒーを出す、人に道や席を譲るなどの場面でも使えることを紹介しましょう。

☞「おはようございます」「ありがとうございます」は、親しい仲なら「おはよう」「ありがとうございます」と言いますが、相手によって使い分けることは難しいので「～ございます」をつけて、丁寧な形で練習しておく、いつでも使えます。

☞挨拶をするときの姿勢(体を少し前に倒し、頭を下げる)を紹介するとより自然な挨拶になるでしょう。

☞相手が聞きやすいように、大きな声で、ゆっくり、はっきり言きましょう。覚えた文はただ棒読みのように発音するのではなく、相手に語りかけるように発音、間のとり方にも気をつけることが大切です。

〈 数 〉

- (1) 1～10の数の読みかたを紹介します。4, 7, 9の数え方は一つではありませんから気をつけましょう。
- (2) 何か小さいもの(豆など)を箸でつまんで、数え方の練習をします。教える練習と、箸の持ち方の紹介が一緒にできます。きれいな塗りの箸や袋に入った割り箸などがあれば楽しいですよ。

1 ichi

2 ni

3 san

4 shi / yon

5 go

6 roku

7 shichi / nana

8 hachi

9 kyū / ku

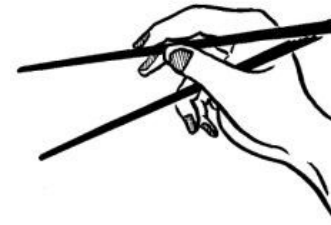
10 jū

[箸の持ち方]

- ① はじめに上側の箸をペンダグリップで握り、下側の箸を親指のつけ根から薬指の上に置くようにします。そして、二本の箸先を揃えます。



- ② 下の箸を動かさないようにし、上の箸を親指の腹を支点にして、人さし指と中指ではさむようにして上下に動かします。



[ゲーム] 時間を決めて、いくつ豆を移動させられるか競争します。



2 お名前は？

自分のことを日本語で紹介してみましょう。

手順1 左の空欄に、右の会話の訳が書いてありますか。

手順2 「こんにちは」と呼びかけて、次に名前、国籍、職業／身分の3つを伝える言い方を練習します。

まず、**1 こんにちは**を思い出して、挨拶をしてみましょう。

手順3 相手の名前を聞いてみましょう。

「あなたの名前は何ですか？」と聞くよりも「お名前は？」とたずねるほうがより自然で、簡単です。

一度聞いただけでは名前はなかなか聞き取れません。そんな時は聞き返します。

相手に何かを聞くとき、日本語の文では、文末に「か」をつけると疑問文にしますが、文末をちょっと上げて発音するだけでも疑問文になります。この言い方は簡単でとても便利です。

☞ 日本語では自分の名前に「さん」をつけません、相手の名前を言う時は敬意をこめて、名前の後に「さん」をつけます。学習者が自分の名前に「さん」をつけないように注意しましょう。

手順4 職業・身分を聞いてみましょう。

職業・身分は多種多様ですから、学習者の職業や身分を日本語で何と云うか、事前に調べておきましょう。

日本語で何と云うか、適当な表現がない場合や、言い方が難しい場合は、現地語や英語などを使いましょう。

手順5 相手の国籍・所属先を聞いてみましょう。

「日本人ですか」と聞くのは簡単ですが、少々ぶっきらぼうで、失礼な印象を与えかねません。「～のかた」という言い方を使うと、丁寧で、国籍だけでなく、所属先を示す時にも使えて便利です。職業や身分と同様、日本語で何と云うか、適当な表現がない場合や、言い方が難しい場合は、現地語や英語などを使いましょう。

☞ 「～さん」と同様に、「～の方」も自分につけないように注意しましょう。

☞ ここにあげた自己紹介のしかたを覚えておくと、どんな場面でも最低限の挨拶ができます。また、現地に合わせて、自己紹介で言うべき内容を随時変更してください(国籍→出身地、など)。

<折り紙>

かぶとの作り方

好みの大きさの紙を用意する。

新聞紙のような大きな紙で折ると、かぶれるものができます。

【正方形を作る】

- ① フチとフチを合わせて折る
- ② 余分な部分を切り取る
- ③ 元に戻すと正方形の紙になる

【かぶとを作る】

- ④ カドとカドを合わせて半分に折る
- ⑤ 左右の2つのカドを下のカドに合わせて折る
- ⑥ 下部の2つのカドを上のカドに合わせて折る
- ⑦ カドを開くように折る
- ⑧ 下部の上の紙1枚だけカドを上を折る
- ⑨ フチを上を折る
- ⑩ 下部のもう1枚の紙のカドを内側に折って挟み込む

できあがり

3 何を飲みますか？

喫茶店などで、相手に飲みたいもの、食べたいものを聞いてみましょう。

☞ 相手に感想を言うときに、日本人は否定的なことをあまりはっきり言わないことに注意しましょう。

手順1 左の空欄に、右の会話の訳が書いてありますか。

手順2 学習者と相談しながら、どんなものを注文するか考えましょう。

空欄は現地でよく注文するものを入れて練習しましょう。

手順3 相手の飲みたいもの、食べたいものを聞きましょう。

まず、相手に何を飲みたいか、何を食べたいかを聞きます。

手順4 注文しましょう。

お店の人を呼び止めるとき、よく「すみません」を使います。

また、「～、お願いします」と言って注文します。「お願いします」は言わなくてもいいです。

☞ 「コーヒー、2つ」のように複数個注文する場合、数字は注文するものの後に来ます。「2つ、コーヒー」とは言いません。

手順5 感想を聞きましょう、言いましょう。

相手に感想や、様子を聞くときに「どうですか」と聞きます。非常に使いやすい表現ですが、漠然としていて、答えるほうは、時々答えにくいことがあります。「この料理、どうですか」など、何のことを聞いているのかははっきりさせると答えやすくなります。

4 すきですか

相手が好きなものを聞きましょう。

手順1 左の空欄に、右の会話の訳が書いてありますか。

手順2 好きなもの、好きなことを言ってみましょう。

手順3 趣味を聞いてみましょう。

答えは無理に日本語で話さなくてもかまいません。

答えるとき、「料理です」と答える場合と「料理することです」と答える場合があります。どちらでも答えやすいほうでかまいませんが、「料理するです」とは言えません。

手順4 好きかどうかを聞いてみましょう。

趣味に限らず、食べ物などいろいろなものやことについて使えて、話を続けやすくなるので、覚えておくと便利です。

また、「何ですか」と聞くと、具体的な答えが必要ですが、「好きですか」と聞くと、「はい」「いいえ」で答えることができます。間違えないで聞き取りやすくなります。

☞ 相手に感想を言うときと同様に、日本人は否定的なことをあまりはっきり言わないことに注意しましょう。「嫌いです」というよりも「好きじゃありません」という場合が多いです。

手順5 好きな食べ物を聞いてみましょう。

5 知っていますか？

自分の国の観光地の紹介をしてみましょう。

手順1 左の空欄に、右の会話の訳が書いてありますか。

手順2 学習者と相談しながら、会話文に合う観光地名を考えましょう。

手順3 日本語の会話の内容を理解するために、まず、訳文で軽く会話をしてみましょう。

手順4 さあ、日本語で会話をしてみましょう。

まず、タイトル「知っていますか」を、日本人⇒学習者の順で、何回かゆくり繰り返しましょう。

☞ 「して」が「して」になるようでしたら、「し」の後で、ちょっと息を止めてから「て」の音を出すように言ってみましょう。

手順5 手順2で挙げた観光地名を使って、(1)の会話をしましょう。

- 見なくても言えるようになるまで、繰り返しましょう。
- 役を交代してやってみましょう。
- 他の観光地や、土地の人がよく知っている場所や建物、人名、店名等も使って変化をつけてみましょう。

☞ 挿入する語彙(現地の地名・人名等)の発音は、無理に日本式に直す必要はありません。

手順6 (2)も(1)と同じように練習しましょう。

☞ ～へ行きます / ～に行きます

あなたは、普段どちらを使っていますか。

どちらでもいいですが、「へ」と「に」を混ぜずに、どちらかに決めて練習しましょう。

☞ 本文では「(場所)に行きました」と過去形を使っていますね。ここで、「(場所)に行きます」との違いにも触れておくといいでしょう。

手順7 (3)の会話を(1)(2)と同様に練習しましょう。

学習者が日本や他の国の観光地を知っているなら、それらを使うのも楽しいでしょう。

☞ 行き~~ます~~ ⇒行きたいです

食べ~~ます~~ ⇒食べたいです 飲み~~ます~~ ⇒飲みたいです

応用 1 (1)～(3)が自然に出てくるようになったら、次のような会話を楽しむこともできます。

A:(食べ物・果物の名前)を知っていますか。

B:いいえ。

A:おいしいです。

B:そうですか。食べたいです。

A:(飲み物の名前)を知っていますか。おいしいです。

B:飲みたいです。

応用 2

* 世界地図を見て、国の名前を言ってみましょう。

* ①～⑤の絵を見て言ってみましょう。

④は有名な、元サッカー選手です。誰だかわからなければ、答えは「いいえ」でかまいません。

NPO 法人 海外日本語学習支援協会

荒川宣子

潮田ちせ

内田ナナ

黒岩幸子

齋藤健二

丹 博輝

西村祐二郎

藤井晶子

牟田由紀子（イラスト）

森戸規子

吉田菜穂子

吉田曜子

〈連絡先〉

nponihongo@yahoo.co.jp

2006年 10月 初版 第1刷

2007年 9月 改訂版 第2刷

2008年 6月 改訂版 第3刷